

「都市のリデザインと交流・創造」

～都市機能の充実・拡大と文化の役割～

社会経済の変化や人口縮小等の都市を取り巻く環境の変化によって、中心的都市の広域的役割の増大とそれに見合う機能の充実・拡大が求められています。とりわけ、そのような機能の中でも、都市の本質に関わる交流（コミュニケーション）と創造（クリエイティブ）が、今後ますます求められるものと思われます。

今回のセミナーでは、交流と創造という機能の充実・拡大という視点から、都市に求められているリデザインのあり方を捉え、具体的に空間的な再編成について、会場の皆様とともに議論したいと考えています。

■日時：平成30年3月16日(金) 14:00～17:30（開場13:30）

■場所：福岡アジア美術館「あじびホール」（福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル8階）

■プログラム：

14:00～14:05 開会挨拶 （公財）福岡アジア都市研究所 理事長 安浦 寛人

14:05～14:55 基調講演「文化、交流と都市のリデザイン

～文化観光・エリアマネジメント・イベント志向型政策を中心に～

大阪府立大学研究推進機構 特別教授 橋爪 紳也 氏

15:00～15:25 報告① 「福岡市の空間特性と交流機能・創造機能」

立命館アジア太平洋大学 准教授 久保 隆行 氏

15:25～15:45 報告② 「福岡地域の交流と創造に関する政策的展開」

(公財) 福岡観光コンベンションビューロー 専務理事 合野 弘一 氏

15:45～16:05 報告③ 「文化創造における都市内部の交流と外部との交流」

(公財) 福岡アジア都市研究所 調整係長 中島 賢一

16:15～17:30 パネルディスカッション「福岡のリデザイン」・会場との質疑応答

<パネリスト> ・大阪府立大学 特別教授 橋爪 紳也 氏

・(公財) 福岡観光コンベンションビューロー 専務理事 合野 弘一 氏

・(公財) 福岡アジア都市研究所 調整係長 中島 賢一

<モデレーター> ・立命館アジア太平洋大学 准教授 久保 隆行 氏

※講師の都合により、プログラムに一部変更がございました。本プログラムは修正後の内容を記載しております。

急遽、プログラムが変更となり、皆様方にご迷惑をお掛け致しまして、大変申し訳ございません。

ご理解のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

問合せ先 公益財団法人福岡アジア都市研究所（担当：嶋岡・山本）

TEL : (092) 733-5686 FAX : (092) 733-5680 E-mail: event3@urc.or.jp

【登壇者プロフィール】

大阪府立大学 研究推進機構 特別教授、大阪府立大学 観光産業戦略研究所 所長 橋爪 紳也 氏



大阪市生まれ。京都大学工学部建築学科卒業、同大学院および大阪大学大学院工学研究科修了。建築史・都市文化論専攻。工学博士。

大阪府特別顧問、大阪市特別顧問、大阪市立大学および浙江大学客員教授、イベント学会副会長、IR*ゲーミング学会副会長、福岡アジア都市研究所企画委員などを兼職。

都市文化施設、盛り場や商業施設に関わる総合的な研究を展開。また各地で観光政策の立案、地域ブランディング、イベントプロデュースを実践。『集客都市』『モダン都市の誕生』『にっぽん電化史』『瀬戸内海モダニズム周遊』『大京都モダニズム観光』ほか著書は70冊超。

日本観光研究学会賞、日本都市計画学会石川賞、日本建築学会賞など受賞。

立命館アジア太平洋大学 アジア太平洋学部 准教授 久保 隆行 氏

京都市出身。コーネル大学修士 (M. Arch)、中央大学博士 (経済学)。森記念財団都市戦略研究所、サムスン物産都市開発本部部長等を経て、2014年より (公財) 福岡アジア都市研究所 上席主任研究員・情報戦略室長。専門は都市政策、都市経営、グローバル都市研究。2017年より現職。

(公財) 福岡観光コンベンションビューロー 専務理事 合野 弘一 氏

福岡市生まれ。九州大法学部卒。福岡県入庁後、国際交流課、国際経済観光課に20年在籍し、一時、(財)自治体国際化協会 ロンドン事務所に出向。2012年福岡市経済観光文化局理事に出向、転籍。2017年4月より現職。主に地域の国際化、企業誘致、海外展開等に従事。現在はMICE (国際会議等) やインバウンド戦略を展開。

(公財) 福岡アジア都市研究所 調整係長 中島 賢一

民間IT企業を経て、福岡県に入庁。福岡県にてITやコンテンツ産業振興を行い、2013年に福岡市に移籍。ゲーム・映像係長や創業支援係長として、ビジネス支援に奔走。その後、現職にて都市政策プロジェクトのコーディネータとして活動中。

<Memo>